

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【事業年度】	第36期（自平成20年7月1日至平成21年6月30日）
【会社名】	株式会社フジコー
【英訳名】	FUJIKOH COMPANY., LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 直人
【本店の所在の場所】	東京都台東区駒形二丁目7番5号
【電話番号】	03-3841-5431
【事務連絡者氏名】	経営企画室長 清水 周二
【最寄りの連絡場所】	東京都台東区駒形二丁目7番5号
【電話番号】	03-3841-5431
【事務連絡者氏名】	経営企画室長 清水 周二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年9月24日に提出した第36期(自平成20年7月1日至平成21年6月30日)有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

3【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1) ~ (2) <省略>

(訂正後)

(1) ~ (2) <省略>

(3) 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等をし、又は改善するための対応策

当社グループは「第2 事業の状況 2 事業等のリスク」に記載されている、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況を解消すべく、抜本的な売上高の増加に向け、組織変更による営業体制の強化により、一般廃棄物並びに食品リサイクル事業の拡大に注力してまいります。既存取引先からの受入数量を維持し、新規取引先の開拓による売上高をプラスすることにより、安定的な廃棄物の確保を図るとともに収益の改善を強化してまいります。建設系リサイクル事業は、取り巻く環境は厳しい状況が続くものと予測しておりますが、積極的な営業活動に注力し、取引業種の拡大及び取引先社数の増加を進めることにより、外部環境に影響を受けない安定的な受入数量の確保に努めてまいります。

当連結会計年度は新規取引先の拡大に努めた結果、282社との取引を開始し、当該取引先との売上高は199百万円を計上し、業績の回復に寄与しております。食品リサイクル事業は事業基盤の確立と営業利益の拡大に注力した結果、営業利益は前年比528.3%増となりました。営業強化を目的とした業務提携につきましては、エスシーエス株式会社並びに太平洋セメント株式会社との提携により安定的な廃棄物の確保に努めてまいります。さらに取引業種の拡大と合わせ一般廃棄物の受入に注力してまいります。

手元流動性に関しては、当連結会計年度において、エスシーエス株式会社との資本業務提携により同社より54,000千円の調達を致しました。さらに、経済産業省のセーフティネット等を活用し、長期借入金480,500千円の調達を実施致しました。

財務制限条項の抵触に関しては、取引金融機関より当社説明の今後の見通しを前提として、当該条項を適用しない旨の承諾を現時点の判断として得ております。

今後も経営計画達成に邁進し、経常損益の継続的な黒字化、営業キャッシュ・フローの向上及び財務体質の改善を進めることにより、当該事象が解消できるものと判断しております。